

〒010-0014 秋田県秋田市南通宮田15-1
ホームページアドレス <http://www.edu.city.akita.akita.jp/akm-c/>
TEL 018-833-8467 FAX 018-833-8468



自然災害を目の当たりにして

校長 茜谷 英也

後学期も無事スタートを切り、生徒たちは張り切って学習や生徒会活動、部活動に励んでいます。

さて、前学期を振り返ってみますと、生徒総会、中総体、南中祭、合唱コンクールなどの全校行事や様々な学年行事が開催されました。実りの秋を迎えた今、行事を通して生徒一人一人が「喜び、感動、笑顔」を体験し、心豊かでたくましく成長することができたのではないかと思います。特に合唱コンクールは、どの学級も美しい歌声で男女のハーモニーも素晴らしく、「喜び、感動、笑顔」がいっぱいでした。開催にあたりご協力いただきましたPTA役員の皆様に感謝申し上げます。

一方、7月の西日本豪雨では、広島県、岡山県、愛媛県の3県を中心に、各地に今までにないような洪水や土砂崩れなどの被害をもたらしました。また、9月に入り、台風21号が25年ぶりに「非常に強い」勢力で日本に上陸し、特に近畿地方を中心に、高波や暴風による大きな被害をもたらし、北海道で発生した地震（北海道胆振東部地震）は、震度7を観測した地域を含め全道が停電し、土砂崩れや家屋の崩壊など甚大な被害をもたらしました。豪雨、台風、地震と立て続けに自然の猛威を目の当たりにし、災害時の安全確保や事前の防災対応などしっかり考えることが大切だと再確認するとともに、被害に遭われた方々が一刻も早く普通の生活に戻れることを願っているところです。

本校における自然災害時の避難所開設等の対応については、次の対応となっております。

震度6強以上の地震の場合は、秋田市の緊急開設員が学校を解錠し、安全を確認してから、災害対策本部が管理運営責任者を派遣して避難所を運営します。震度6強に満たない地震やその他の災害（豪雨災害など）の場合は、教育委員会からの依頼を受けた教頭等が学校を解錠し、校内外の安全を確認して報告します。使用可能な場合は、災害対策本部が管理運営責任者を派遣して、秋田市の職員が避難所を運営します。

また、本校では、避難訓練や防災講話会も定期的を実施し、生徒たちの防災意識を高めるよう取り組んでいます。どうぞご家庭でも、災害時の備えについてお子さんと再確認をお願いいたします。

保護者の皆様には、いつも本校教育活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。後学期も始まったばかりでまだまだ長い道のりが続きますが、全職員が一丸となって生徒の健全な成長を目指し、取り組んでいきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくをお願いいたします。

学校づくり

竿燈部の活動を振り返って

竿燈部担当



竿燈部の活動は夏休み前日から始まり、休みに入ってからほぼ毎日練習を重ねました。記録的な猛暑の中での練習でしたが、太鼓や囃子の音色は日ごとに力強さを増し、竿燈をあげる男子部員は囃子に負けじと熱心に練習に取り組み、久しぶりの感触を取り戻していきました。

まつり当日は、半纏と豆絞りを身に付けてやる気に満ちた部員たちが集まりました。竿燈大通りでの本番は、練習の成果を発揮するとともに、少しでも観客に喜んでもらおうと工夫を凝らした演技ができました。また、移動中の降雨や竿の破損などにも、「チーム南中」として部員全員で対応する姿が見られました。

こうして南中竿燈部員の熱い夏は成功裏に終わりました。部員の頑張りはもちろんですが、全面的に支援して下さった南通り竿燈会の皆様、温かく見守って下さった地域の皆様、遅い時間にもかかわらず快く送迎して下さった保護者の皆様、応援に駆け付けてくれた多くの南中生の力があつたからこそ成功です。南中竿燈を支えて下さったたくさんの方々に深く感謝いたします。

合唱コンクールを振り返って

音楽科主任

熱い熱い合唱コンクールが終わりました。3年生にとっては中学校生活最後の合唱コンクール。合唱にかける思いは計り知れないものがありました。「4人のコンダクターが振り返る～金賞の証はここに～」から、3年生の感想などを紹介します。



- ・みんなで考えを出し合い、だんだんとよい合唱にしていった。
- ・クラスのみならずと全力で歌い切ることができたことを誇りに思う。
- ・アトリオンで全員でつくりあげたあの合唱を忘れない。
- ・指揮者と伴奏者も互いに意見を出し合い、タイミングを合わせた。
- ・たくさんの方々の支えがあり、一歩ずつではあったが、着実に完成に近付いていくことがとても嬉しかった。
- ・練習では各パートでの細かい音取りを欠かさず、指摘し合う声がよく聞こえてきた。
- ・リーダーを中心にパート練習を行ない、気持ちを一つにしようと努力した。
- ・「最高の合唱で、最高の結果を〇〇先生に贈る」という目標が達成できた。
- ・みんながつくった合唱に、より一体感を出すのが指揮者の役割だと考え、伴奏者との会話を大切にしました。
- ・なかなか満足できない中、課題を全員で克服しようとしたことで、次第に団結力も増していった。
- ・本番は多少の緊張感があったが、自信にあふれた合唱に自分も楽しく腕を振れた。

『心の最優秀賞』という言葉が確かに存在することを実感できました。どのクラスも、頑張った分の感動を手に入れるとともに、やれなかった分の悔しさや心残りもしっかりと見え隠れする手応えのある合唱コンクールとなりました。当日はたくさんの保護者の方々に足を運んでいただき、生徒たちの大きな力になっていただいたことに深く感謝申し上げます。

審査結果

☆：最優秀指揮者・伴奏者

[1 年 生]

成 績	学級	曲 名	指 揮 者	伴 奏 者
銀 賞	1 組	C O S M O S	高橋	☆坂本
銀 賞	2 組	H E I W A の 鐘	松本	滝
金 賞	3 組	つぼみが開くように	☆熊谷	菊地
最優秀賞	4 組	空駆ける天馬	藤原	勝見

[2 年 生]

成 績	学級	曲 名	指 揮 者	伴 奏 者
最優秀賞	1 組	ヒカリ	加賀谷	☆星川
銀 賞	2 組	Y E L L	☆檜尾	塚田
銀 賞	3 組	予 感	加藤	三浦
金 賞	4 組	あなたへ - 旅立ちに寄せるメッセージ -	乾	小笠原
金 賞	5 組	時を越えて	藤井	長谷川

[3 年 生]

成 績	学級	曲 名	指 揮 者	伴 奏 者
金 賞	1 組	はじまり	伊澤	舟山
金 賞	2 組	花をさがす少女	林	☆佐々木
金 賞	3 組	そのひとがうたうとき	竹沢	柏谷
最優秀賞	4 組	流浪の民	☆佐藤	伊藤

前期生徒会活動を振り返って

◆ 基本方針に込めた思い

生徒会長 鈴木

前期生徒会基本方針は、「あいさつ」「かかわり」「磨き合い」です。

「あいさつ」には人と人とを繋ぐ力があります。あいさつを交わすことで笑顔があふれ、心温まる南中を目指しました。学校生活を送るうえで人との「かかわり」は不可欠です。9月には、地域の小学校で、一緒にあいさつ運動を行い、あいさつの輪を学校から地域へと広げていく取組も行いました。周りの人への感謝の気持ちや思いやり、人とのかかわりを大切にして、学校生活を向上につながると考えました。

また、「磨き合い」には、毎日の学習や部活動、委員会活動や行事を通して仲間と切磋琢磨しあうことで互いを高め合い、南中全体を発展させようという意味があります。

この三つの基本方針には、南中生としての誇りを持ち、全校生徒で南中を向上させていこうという思いが込められています。

◆ 中学生サミットに参加して

生徒会副会長 林 ・ 伊藤

中学生サミットでは「ふるさとのWA」のキャッチフレーズのもと、全市の中学校が地域に貢献する活動に取り組んでいます。秋田南中学校では、竿燈まつりに訪れた方々へのしおり配りを通して、秋田の祭りを活性化させ、地域に貢献しようと考えました。

9月に、地域貢献活動の一環として行われた「全市一斉あいさつ運動」では、中通小学校と築山小学校にお邪魔し、地域の小学生のみなさんと一緒にあいさつを交わしました。小学生のみなさんにあいさつをすると、それ以上の元気な笑顔が返ってきました。初めて出会う小学生も多かったのですが、気持ちのよい朝のあいさつができました。あいさつには人と人とをつなぐ大きな力があると実感しました。

地域の方とのふれあいを通して「ふるさと秋田」について考えるとともに、私たちにできることについてこれからも考えていきたいです。

◆ 南中祭を振り返って

生徒会副会長 桂川 ・ 長谷川

「咲(saku)～大好きなこの場所で笑顔の花を～」このテーマのもと、全校生徒で最高の南中祭を創り上げることができました。「大好きな南中で、南中祭を通して笑顔の花がたくさん咲くように」という願いが込められた今年の南中祭でしたが、この行事への取組を通して、みんなの笑顔が輝きました。

生徒会執行部では、「ふるさとのWA」プロジェクトに取り組みしました。今年は「世界に広めたい秋田の魅力」について、全校のみなさんに考えてもらいました。「東京オリンピックのメダルは小坂町で作っている」「人の優しさ」「秋田杉から職人が作る曲げわっぱ」など、たくさんの魅力を挙げてもらい、体育館につながる渡り廊下に掲示しました。日頃、秋田についてじっくり考える機会がないので、ふるさと秋田を見つめ直すよい機会になったと思います。

準備期間が短かったのですが、各部門の頑張りによって今年も大成功を収めることができました。

◆ 竿燈まつりを通して

生徒会書記 佐々木

平成最後の竿燈まつりに向けて全校生徒が歓迎の気持ちを込めたメッセージを書き、図書委員が中心となってしおりを作りました。

合計1,600枚のしおりをフォンテ前の広場と竿燈まつりの会場で全てお渡しすることができ、県外や海外から来てくださった方とも交流することができました。「秋田に来て、楽しませてもらってます」「あなた方の笑顔で元気が出ました」など、たくさんの方から声をかけていただき、秋田に生まれ育ったことに誇りを感じました。

伝統のある祭りに、このような形で関わることがとても嬉しかったです。これからも秋田の伝統や文化に触れながら、地域との関わり合いを大切にして、秋田のよさを発信していきたいです。



平成30年度の全国学力・学修状況調査は、3年生を対象に国語、数学、理科の3教科で実施されました。国語と数学の出題はそれぞれA問題（知識を問う）とB問題（活用を問う）で構成され、理科は1つの調査問題の中で知識と活用の両方を問う形式でした。各教科の平均正答率は次の通りです。また、質問紙調査（学習に関わる取組状況を問う）も行われました。

国語	領域	平均正答率 (%)	
	A知識	秋田南	80.0
		全国	76.1
	B活用	秋田南	65.0
全国		61.2	

数学	領域	平均正答率 (%)	
	A知識	秋田南	68.0
		全国	66.1
	B活用	秋田南	45.0
全国		46.9	

理科	領域	平均正答率 (%)	
	A知識	秋田南	67.0
		全国	67.9
	B活用	秋田南	66.0
全国		64.9	

国語の結果から

国語の設問は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4分野に分かれています。南中生の平均正答率は、ほとんどの問題が全国平均を上回っており、特に、語句の意味を理解し文脈の中で適切に使う、登場人物の描写や言動の意味を考え内容をとらえるなどの理解力が、全国平均を10ポイント以上、上回りました。この要因としては、授業中に国語辞典を活用し言語に対する理解を深めることができていることや、始業前（南中タイム）の全校朝読書により、多様な描写に触れる機会が保障されていることが考えられます。一方、目的に応じて文の成分の順序や構成を考えて適切に書くことは全国平均、南中生の平均とも正答が2割程度となっており、南中並びに全国の結果において、ともに課題であるといえます。より適切な表現を考える指導が必要ととらえています。

出題の趣旨	秋田南	全国
語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	77.3	61.8
登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる	86.5	68.2
古典に表れたものの見方や考え方を理解する	88.2	81.3
目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く	18.2	22.3

数学の結果から

数学の設問は、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4分野に分かれています。南中生の平均正答率は、二元一次方程式の解とグラフの交点の関係をとらえる、資料から最頻値や中央値を読み取るなどは、全国平均を10ポイント以上、上回りました。数学の授業をTTで行い、生徒のつまずきに対応してきたことの成果と考えられます。しかし、絶対値の意味や指数を含む正の数と負の数の計算などの正答率が10ポイント程度下回っており、基本的な用語や計算が曖昧なままになっていることが伺えます。今後も計算力の向上を目指して、問題集やプリントを活用していくことが大切と考えます。また、数式や図形の証明では、問題解決の方法や事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する学習の充実が必要ととらえています。

出題の趣旨	秋田南	全国
連立二元一次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解している	81.1	62.7
最頻値は資料の中で最も多く出てくる値であることを理解している	83.8	68.4
与えられた資料から中央値を求めることができる	86.5	74.0
絶対値の意味を理解している	55.9	69.0
指数を含む正の数と負の数の計算ができる	59.5	68.9
事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	28.8	37.5

理科の結果から

理科の設問は、「物理的分野」「科学的分野」「生物的分野」「地学的分野」の4つに分かれています。南中生の平均正答率は、全国平均とほぼ同程度ですが、神経系の働きについては14ポイント下回りました。感覚器官や神経系のつくりやはたらきについての知識を習得することに課題があると考えられます。また、密閉した容器に鉢植えの植物を入れたときに湿度が上がる原因を指摘する問題での誤答や無回答の割合が多く、水の蒸発と湿度に関する知識を活用して思考することに課題があります。ある現象について様々な角度から考え、話し合うことで理解を深めるなど、多角的・多面的など

出題の趣旨	秋田南	全国
電流計は回路に直列に接続するという技術及び電流計の電気用図記号の知識を身に付けている	80.2	70.5
豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる	95.5	91.4
神経系の働きについての知識を身に付けている	43.2	57.2
植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	10.8	19.4

らえ方をはぐくむ指導を継続していくことが大切と考えます。

質問紙調査の結果から

本校では、「主体的に学び、共に認め合う生徒の育成」という目標のもと、生徒が分かる授業づくりを重点とした「喜びと感動、笑顔のある授業」「認め合いと学び合いの場を保障する指導」に取り組んでいます。今回の調査では「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」など、主体性や充実した話し合いについては、8割が当てはまると回答していることから、これまでの成果が表れていると考えます。しかし、表現力については全国平均を上回っているものの、当てはまると回答したのは6割にとどまっており、改善が求められます。今後も様々な形態で話し合い活動を充実させながら、分かりやすく伝えることへの意識を高めていくことが必要ととらえています。

家庭学習については、学校の宿題や授業の復習をしていると回答した生徒が全体の約9割となっており、習慣として身に付いているととらえています。また、自分で計画を立てて勉強しているのは約7割ですが、これは4月段階での調査であり、これまでの家庭学習への取組や定期テストでの学習計画を経て向上していると考えられます。家庭学習ノートに目を通し、アドバイスや励ましの声を掛けながら生徒の意欲を高めることができるようにしていますので、これまで同様、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

出題の趣旨	秋田南	全国
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	80.1	73.8
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している	60.3	53.8
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	81.9	76.3
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	72.2	52.1
家で、学校の宿題をしている	95.5	91.6
家で、学校の予習・復習をしている	89.1	55.2

金融教育講話会の振り返りシートから

本校は、今年度と来年度の2年間、金融教育研究校となりました。9月19日、お金や金融のはたらきを理解することによって、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて主体的に行動しようとする態度を養うことを目的に、2、3年生を対象に講話会を実施しました。講師の伊藤晴美様は、秋田県金融広報委員会金融広報アドバイザーで、秋田南中学校後援会長でもあります。生徒の感想の一部を紹介します。



- 金融講話会は、将来のためになる話が多かったと思います。ここまで自分のために大量のお金をつぎこんでくれた親に感謝しなくてはならないと思いました。また、今日の講話会は、自分たちも参加するものだったので、とても面白かったです。（3年男子）
- お金のことを考えているようであまり考えていなかったのを身にしみて感じた。自分が生きてきた時間にこんなにもお金がかかっているのかと改めて知ることができた。この講話会に参加して、家族にしっかりと感謝していきたいと思った。（3年女子）
- 自分にかかっているお金が、想像してたよりも遙かに多くて驚きました。いままで家族とお金の話をすることがあまりなかったので、これからはお金の使い方などについて話し合った方がいいと思いました。（3年男子）
- お金はいつもなにげなくあって、深く考えたことはあまりありませんでした。今回、伊藤さんのお話を聞いて、お金がどれほど重要なものか理解できました。これからは、しっかり身の回りを整理してやりくりできるように頑張ろうと思います。（2年男子）
- この講話会に参加して、お金の大切さを再確認しました。光熱や水道にかかるお金は、気を付けると減らすことができるので、家族にも今日の講話会の話をしたかったです。今日のお話をふまえて、お金の使い方をよく考えて生活していきたいです。（2年女子）
- お金とはどんなものなのか、どう使っていくのがよいのかを知ることができました。お金は家族と相談しながら使っていく、必要な物と欲しい物の区別をしていかなければいけないことも分かりました。（2年女子）
- 「これまでににかかっている教育費などのお金で家が建ってしまう」と聞いて、びっくりしました。これからは友達とお金を大切にしながら、プラス思考で生活していきたいです。（2年女子）

◆ 各種大会等の成績 ◆

秋田県中学校総合体育大会 (7/14~16)

《 ☆：入賞、東北大会出場 》

- 剣道 男子個人 第5位 ☆小松
- 陸上競技
 - 男子共通800m 第4位 ☆工藤
 - 男子共通100mH 第3位 ☆坂本
 - 女子共通100mH 第6位 東海林

全日本中学校通信陸上競技大会秋田県大会 (7/21~22)

- 男子共通走高跳 第7位 坂本
- 女子共通四種競技 第8位 佐々木

秋田市中学校総合体育大会駅伝競走大会 (8/25)

- 男子 4区 区間2位 工藤
- 女子 第5位
 - 1区 区間1位 伊藤
 - 2区 区間1位 藤井

秋田市中学校秋季大会 (9/15~ 各競技による)

- 男子バレーボール (秋田南・城南合同チーム) 準優勝
- 男子バスケットボール 第3位
- 女子ソフトテニス
 - 個人 (県大会へ) 袴田 ・ 関口
- 女子卓球 団体 第3位
 - 個人 (県大会へ) 加藤 飛田

秋田県中学校秋季陸上競技大会 (9/29~30)

- 男子共通走高跳 第2位 坂本
- 女子1年1500m 第5位 伊藤
- 女子共通100mH 第5位 東海林

秋田市中学校陸上競技新人大会 (10/6~7)

- 男子共通走高跳 第2位 坂本
- 男子共通棒高跳 第2位 藤原
- 男子共通3000m 第4位 利部
- 男子1年1500m 第5位 田村
- 男子共通110mJH 第5位 遠藤
- 女子1年1500m 第2位 伊藤
- 女子共通100mH 第3位 東海林
- 女子共通走高跳 第3位 木村
- 女子共通800m 第5位 伊藤
- 女子共通400mR 第4位
 - ・ 豊澤 ・ 八木
 - ・ 八木 ・ 東海林

創立60周年記念 第5回 秋田南中学校招待野球大会 (8/25)

第3位



全日本吹奏楽コンクール第60回秋田県中央地区大会 (7/14)

中学校の部 銀賞

第41回秋田マーチングフェスティバル美郷大会 (9/23)

優秀賞 (東北大会へ)

市民スポーツ祭中学校バレーボール大会 (10/13)

□ 男子 優勝 (秋田南、城南合同チーム)

秋田市中学校男子選抜バスケットボール

・ 安田 (副主将) ・ 柏木 (マネージャー)

※ 秋田市選抜チームのメンバーに選出されました。

秋田県バレーボール協会 優秀選手賞

・ 狩野 ・ 佐藤 ・ 秋山 ・ 吉田
 ・ 米澤 ・ 三浦 ・ 畠山

※ 秋田市選抜チームのメンバーに選出されました。

秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典

「平和へのメッセージ」 佳作 伊藤

第68回社会を明るくする運動「作文コンテスト」

佳作 後藤

佳作 柳田

秋田市中学校英語暗唱弁論大会 (8/18)

第1位 寶田

第2位 鈴木

秋田県中学校英語暗唱弁論大会 (9/13)

暗唱の部 第1位 寶田

(東北大会へ)

聖霊女子短期大学付属高等学校主催中学生英語暗唱大会 (10/6)

優秀賞 保坂

第60回秋田市席書会

<半紙の部> 2年 銀賞 杉永

2年 銅賞 佐藤

1年 銀賞 湊

1年 銅賞 菊地

1年 銅賞 石田

<条幅の部> 2年 銅賞 佐藤

2年 銅賞 佐々木

1年 銀賞 相場

1年 銀賞 菊地

1年 銀賞 石田

第65回秋田市児童生徒朗読・弁論大会 (10/13)

弁論の部 優秀賞 杉永